

# さくら



令和8年6月1日(月)

## 困難や悩みが人を育てる

一日の終わりに日記をつけています。その日にあったことや感じたことを、短い言葉で綴ります。3年日記（同じ日付が縦に3年分ならんでいる）を使っているため、2年目、3年目は、それぞれ1年前、2年前のことが一目で分かります。

日記を書き始めた頃から、次のようなことは書かないと決めています。

「困ったことや悩んだことは書いても、人を責める内容は書かない」、「うまくいかなかったことを書いても、次は頑張るといったポジティブワードで締めくくる」。負の感情は、すべて自分に返ってくるからです。

ある日（13年前）の日記に次のように書いてありました。

「〇〇さんと言葉の行き違いでギクシャク。もう少し〇〇さんの視点で考えるべきだった。明日はそうしよう」

また、その数日後には次のように書いてありました。

「諸事うまくいかない日。ボスからお叱りを受けた。明日は、問題を前向きに捉えてリスタート」

過去の日記を読み返してみると、一日一日は思いどおりにいかないことがいくつも起こって当たり前だと感じます。その中で悩むこともあります。

しかし、人は困難や悩みを抱えても、それに向きあうことができれば、解決のための新たな視点を得ることができます。そして、新たな視点を得ることで、自分の小さな殻（固定観念や偏見）を破ることができるのです。

また、自分一人では解決できないことに気づけば、人と協力し、支え合おうとします。その過程で人との絆が生まれるのです。

このように考えれば、困難や悩みは、人を成長させてくれる貴重な経験と捉えることができるのではないのでしょうか。

〈保護者の皆様へ〉

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

